



事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）			89,750	101,570				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	市町振興共同事業助成金		59,733	67,713				
	一般財源		29,917	33,857				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	全国市町村国際文化研修所 派遣職員数	年度内派遣職員数		目標		0	0
					実績		1	1
					目標達成率（％）		-	-
	②				目標			
					実績			
					目標達成率（％）			

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>行政の実務に密着した研修を通じて、高度な専門性を必要とする行政分野での実践的な応用力が養成され、地域の実態を踏まえて自らの判断において地域の諸問題に取り組む地方自治体職員としての資質の向上が図られる。また、全国の自治体職員との交流・情報交換もなされ大きな利点となっている。</p>

## 事業実績シート（研修及び調査・研究）

### 4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	各部署への研修生の推薦依頼、職員の能力開発に対する意識・関心の高まり。	
実現性の点検	(1) 事業への反映	(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	研修で得た知識や人脈を活かして、業務の効率化や資質向上が図られている。
	(2) 公共性の評価	(具体的内容)
	本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	研修受講により、職員の資質の向上が図られ、よりよい住民サービスの提供が可能となる。

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■ 現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■ 現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		■ 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	多様化する住民ニーズに対応し、活力あるまちづくりを推進していくことが求められている地方自治体職員に課せられた役割は非常に大きなものとなっていることから、今後も当該事業の継続（現状維持）が必要と考える。				